



▲とようらポークを炭火焼きで堪能！



▲びっしりと人であふれ返る会場

漁協女性部主催の植樹祭 海を守るために 地道な活動



▲トドマツの苗を丁寧に植樹

6月15日、礼文華地区で「いぶり噴火湾漁協豊浦支所」豊浦・礼文地区女性部主催の植樹祭が開催されました。

いぶり噴火湾漁協の藤村建一副組合長は、「豊かな森と緑を取り戻そうと浜の母さんが中心となって始めた植樹も今年で

22回目を迎えた。すぐに結果が見えるものではないが、継続して行うことが大切と思う。今後、50年・100年と続いていってほしい」と話していました。

この日は、漁協女性部の皆さんを中心に豊浦町建設協会などの関係者約50人が、40cmほどに成長したトドマツの苗木250本を植樹しました。

第45回 いちご豚肉まつり 大盛況 まちの特産品で舌鼓

6月5日、晴天のなか今年もいちご豚肉まつりが開催されました。“豊浦いちご”や“とようらポーク”をはじめ町の特産品を求めて、町内外から昨年に比べ5千人多い、3万人の方々で賑わいました。

特産品を手にして喜ぶ方はもちろん、ステージ側で行われた豊浦小学校のマーチングバンド、豊浦中学校の吹奏楽部による演奏、歌謡ショーなどといった充実したアトラクションで盛り上がり、会場から惜しみない拍手が送られていました。最後はもちまきで締め、今年のいちご豚肉まつりも大盛況で終えることができました。

ご来場ありがとうございました。



▲長蛇の列に並んだ末やっといちごを手に

毛ガニかにかご漁試験操業 毛ガニ漁 出足好調

6月20日から7月14日まで噴火湾海域（森町から室蘭市）の毛ガニかにかご漁試験操業が始まりました。

20日に解禁でしたが、天候が不良のため22日が初水揚げ。この日水揚げされた毛ガニは320kgあり、高田大輔いぶり噴火湾漁協豊浦支所長は「幸先の良いスタート。これからも期待したい」と話していました。



▲初水揚げされたばかりの新鮮な毛ガニ